

京都大学 宇治キャンパス公開 2012

「知るよろこび 考える楽しさ —のぞいてみよう科学の世界—」を開催

2012年10月20日～21日、二日間にわたり、京都大学 宇治キャンパス公開 2012「知るよろこび 考える楽しさ —のぞいてみよう科学の世界—」を開催しました。今年も総合展示、講演会、公開ラボを行い、昨年を上回る約2800名の市民が参加されました。防災研究所は、総合展示場所で、防災研究所の紹介、防災クイズ等を行い、きはだホールで、20日の午後、林春男教授が「災害に負けないしなやかな社会—防災の科学入門—」について講演を行いました。

また公開ラボは、『土砂災害のメカニズム：土砂の流動化を調べる』（斜面災害研究センター）、『防災ゲームをしよう』（巨大災害研究センター）、『深層崩壊はなぜ起こる：山と川の歴史を探る防災学』（地盤災害研究部門）、『居住空間の災害を観る』（社会防災研究部門）、『近畿の地震と活断層を探る』（地震予知研究センター・地震防災研究部門）、『風を感じる』（気象・水象災害研究部門）、『災害を起こす自然現象を体験する』（流域災害研究センター・技術室）の7つのコーナーを設け、防災研究所で実際に実験に使用されている施設等を公開しました。参加者は普段見慣れない装置や実験機器を使用した体験学習を楽しんでいました。





